

生ごみ処理補助事業

[597]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	51-0102	実施計画	
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	発生抑制の推進	担当	市民生活部 環境課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<p>市民 生ごみ処理機等販売店 生ごみ堆肥化等に取り組む市民活動団体</p> <p>意図(対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>市民との協働により、生ごみを減らすための取組が幅広く行われている。</p>	<p>生ごみ処理機等購入に対する補助 尾張旭市生ごみ処理機等購入補助金交付要綱に基づき、生ごみ堆肥化容器、生ごみ発酵用密閉容器、電動生ごみ処理機を購入した市民に、購入金額の半分(限度額あり)を補助する。</p> <p>生ごみ堆肥化等への支援 市内のボランティア団体(2団体)に、生ごみ堆肥化に関する業務を委託する。 【主な業務内容】 ・市内保育園での園児との菜園を通じた共同農作業及び食育支援 ・市民向け生ごみ減量講習会、エコッキング講座</p>

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 補助件数	件	38	49	50	49
	B PRの種類数	種類	4	4	4	4
成果指標	C 生ごみを出さないように、また減らすように工夫をしている市民の割合	%	-	73.6	77	-
	D					
事業費 計			615	696	750	746
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	615	696	750

R04年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 未設定</p> <p>【成果向上余地】 未設定</p>	R4はまちづくりアンケート未実施のため、数値未取得
--------	--	---------------------------

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

資源ごみ等処理事業

[598]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	51-0202	実施計画
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	02	資源化の推進	担当	市民生活部 環境課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<p>市民 市民が排出する資源ごみ 収集運搬・処理業者</p> <p>意図(対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>家庭から出された資源ごみを適切に収集し、中間処理(分別、圧縮、梱包等)され、リサイクルが進められている。</p>	<p>市で収集する資源ごみの種類 空きびん、空きかん、ペットボトル、紙パック、乾電池、プラスチック製容器包装、古紙、古着類、スプレー缶類、小型家電、小型充電式電池、危険ごみ</p> <p>資源ごみの回収 <地域集積所> ・空きかん、空きびん、古紙、古着類：月2回 ・プラスチック製容器包装：週1回 ・スプレー缶類、危険ごみ：月1回</p> <p><拠点回収(市役所、公民館、集会所等)> ペットボトル、紙パック、乾電池 <主要公共施設(回収ボックス)> 小型家電、小型充電式電池 <リサイクルひろば> 上記資源ごみのほか、食用廃油、白色トレイ、白色発泡スチロール、エコキャップ、中身の残るカセットボンベの持ち込み可</p>

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A 資源ごみの分別数	種	11	11	12	12	
	B						
成果指標	C 資源回収量(市収集分)	t	2,652	2,734	5,995	2,659	
	D 資源化率	%	24.7	24.6	27.7	24.3	
事業費 計			72,740	115,453	120,463	118,507	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		12,873	14,521	13,501	32,461
		オ 一般		59,867	100,932	106,962	86,046

R04年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	<p>(状況) R3実績と比較し、資源回収量(市収集分)は75tの減少、資源化率は0.3ポイント減少している。</p> <p>(原因) ペットボトルや小型家電を除くほぼすべての資源ごみ量が減少していることが要因と考えられる。可燃・不燃・粗大ごみの減少を上回る、資源ごみの減少に伴い、資源化率が低下した。</p>
--------	---	---

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

資源ごみ回収団体活動奨励事業

[601]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	51-0203	実施計画	
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	資源化の推進	担当	市民生活部 環境課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民 回収活動団体 回収業者	市民で組織する営利を目的としない団体(子ども会、自治会等)が資源ごみを回収した量に応じて、市が奨励金を交付する。 回収品目 新聞紙・チラシ、雑誌、雑がみ、段ボール、アルミ缶、スチール缶、空きビン、古着・布類、牛乳パック
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	奨励金の額 資源ごみ1kgにつき3円(自主回収の場合は4円) 交付要件 ・資源回収団体として事前登録した団体が回収した資源ごみを、資源回収業者として登録した業者が回収する。 ・環境保全活動、地域貢献活動を実施する。
	団体回収を奨励することにより、資源ごみの回収量(率)が高まっている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 奨励金支給額	千円	6,549	6,179	6,600	5,653
	B 資源ごみ回収活動登録団体数	団体	75	72	70	70
成果指標	C 資源ごみ回収量	kg	2,172,034	2,048,631	2,200,000	1,873,251
	D 資源ごみ回収量に占める団体回収率	%	45.0	42.8	50	41.3
事業費 計			6,550	6,180	6,600	5,653
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	6,550	6,180	6,600

R04年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 一部遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 低下</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	<p>(状況) R3実績と比べ、回収量は8.6%減少、資源ごみ回収量に占める団体回収率は1.5ポイント減少している。</p> <p>(原因) 全国的な傾向として古紙の回収量、消費量いずれも減少しており、売却単価の下落にも歯止めがかからない。本市においては、資源回収の活動をやめる子ども会が増加し、今後も厳しい状況が見込まれる。</p>
--------	---	---

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

塵芥収集事業

[602]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	51-0401	実施計画	
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	04	ごみ収集処理体制の整備	担当	市民生活部 環境事業センター		

事業の概要 (目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象 (誰、何に対して事業を行うのか)	手段 (事務事業の内容、やり方、手順)
	市民 市の収集員 ごみ収集事業者	尾張旭市一般廃棄物処理計画に基づき、可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ及び資源ごみの収集・運搬を行う。 収集運搬 ・収集員等による市直営 ・民間事業者への業務委託 (可燃ごみは市域の約7割、不燃ごみ、粗大ごみ、発火性危険物、古紙・古着、プラスチック製容器包装及び空きかん・空きびんは市内全域) 処理 ・可燃、不燃、粗大ごみ 晴丘センター ・資源ごみ 中間処理場
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	
市内で出されるごみが適正に収集・運搬されている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A 不適ごみ対応件数 (連絡により職員で回収した不適ごみの件数)	件	278	285	300	298	
	B 粗大ごみ予約受付個数 (26年度より指標変更) 予約受付業者報告より集計	個	12,021	11,199	12,000	9,819	
成果指標	C 市で収集しているごみの量	トン	17,737	17,752	17,000	17,069	
	D						
事業費 計			122,407	125,617	129,986	129,193	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		9,998	9,223	10,372	8,039
		オ 一般		112,409	116,394	119,614	121,154

R04年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 向上 (最高状態維持含む)</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	<p>(状況) 令和3年度実績と比較し、市で収集するごみの量は683t減少 (向上) した。</p> <p>(原因) ごみの量は少し減っており、市民、事業者との連携のもと、適切に分別され排出されていることが考えられる。</p>
--------	--	---

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

尾張東部衛生組合負担金

[604]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	51-0403	実施計画	
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	04	ごみ収集処理体制の整備	担当	市民生活部 環境課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	尾張東部衛生組合 瀬戸市 長久手市	尾張東部衛生組合の概要 瀬戸市、尾張旭市、長久手市で組織された一部事務組合で、廃棄物処理施設の建設及び維持管理並びにこれらに附帯する事務、北丘スポーツ公園の維持管理に関する事務を共同処理している。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	市の業務 組合の運営にかかる負担金を支弁するほか、各種連絡調整や会議への出席等を行う。 ・組合議会 年4回 ・副市長会議・課長会議 年4回 ・その他実務担当者による広域化検討など
	負担金支出等により、尾張東部衛生組合の廃棄物処理施設が適切に維持管理されている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 負担金額	千円	307,586	343,566	365,299	310,323
	B 尾張東部衛生組合へのごみの搬入量	t	20,743	20,788	17,593	20,270
成果指標	C					
	D					
事業費 計			307,586	343,567	372,007	310,323
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		307,586	343,567	372,007

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 一部遅延あり 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定
--------	---

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

清掃車両維持管理事業

[606]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	51-0404	実施計画	
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	04	ごみ収集処理体制の整備	担当	市民生活部 環境事業センター		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	市民 清掃車両	手段(事務事業の内容、やり方、手順)	<ul style="list-style-type: none"> ・現在10台の車両(ディーゼル車9台・ガソリン車1台)で収集作業を行っており、車検や修繕を行い、これらの維持管理を行う。 車検時期の管理方法 車両内の運転席に車検更新時期を明記したラベルを貼付 事務所及び労務職員詰所の壁面に「清掃車両車検整備日程表」を掲出 労務職員の運転免許証の確認も毎月行う。 ・清掃車両の買換購入については、走行距離や収集作業員の安全性を考慮し、10年経過、10万Kmを基準とし、老朽化の程度を勘案し判断する。 また、策定したごみ収集運搬体制の将来計画に基づき、直営と民間委託の状況を踏まえ計画的に車両の更新及び減車を行う。また、購入する際には環境負荷が少なく燃費効率に優れた環境対応型車両を購入する。 令和3年度に12号車、13号車を売却した。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ収集運搬体制に併せた適切な車両台数を保有し車両の維持管理経費が削減されている。 ・保有する清掃車両が常に正常かつ安全に走行できるよう適切に管理されている。 		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 清掃車両の維持管理台数	台	12	12	10	10
	B 清掃車両の修理件数(車検整備含む)	件	41	29	28	28
成果指標	C					
	D					
事業費 計			6,736	5,862	6,327	5,909
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	6,736	5,862	6,327

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	
	【成果指標の状況】 未設定	
	【成果向上余地】 未設定	

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

環境事業センター維持管理事業

[607]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	51-0405	実施計画	
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	04	ごみ収集処理体制の整備	担当	市民生活部 環境事業センター		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	環境事業センター	令和3年3月(東部浄化センターへ)移転後の環境事業センター <環境事業センター> 浄化センター管理棟内の事務室・作業員詰所・ロッカールーム、及び屋外詰所棟 (洗濯室、乾燥室、シャワー室)、並びにストックヤード棟
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	環境事業センターを、良好な状態で機能させるために、センターの備品・施設の維持管理に努める。 ・センターの定期清掃・軽清掃(トイレ清掃等)を業務委託する。 ・管理棟内事務室等や、詰所棟の床を清掃するため、モップを借上げる。 ・備品や施設に不備がある時は、修繕等を行う。(浄化センターの借用条件として、借用部分に修繕等が必要な場合は、環境事業センターで修繕等を行う。)
	環境事業センターの運営に支障の無いよう、施設が常に良好な状態に保たれている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 維持管理委託件数(借上含む)	件	8	5	6	6
	B 修繕件数	件	1	0	5	1
成果指標	C 施設維持管理上の重大な不具合・トラブル件数	件	0	0	0	0
	D					
事業費 計			3,546	6,722	7,739	7,331
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	3,546	6,722	7,739

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 成果指標については、令和3年度、4年度実績ともに0件である。 (原因) 職員による適切な維持管理や清掃委託等を行っており、重大な不都合やトラブルが発生しなかったため。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	環境事業センターの移転先や時期について整理します。		
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
関係各課(環境課・下水道課・浄化センター等)と9回の打ち合わせを行い、移転先や移転時期の検討を行ったが、結論には至らなかった。			

リサイクルひろば運営事業

[612]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	51-0902	実施計画
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	市民生活部 環境課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	利用者 障がい者就労施設 シルバー人材センター 資源回収業者	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	・資源が正しく分別され、リサイクル・リユースが促進されている。 ・収集日に出せなかった資源ごみが回収できている。	家庭から出た資源ごみの拠点回収場所として、市役所南側に開設。 開設時間 年末年始を除く午前9時～午後4時 開設場所 東大道町原田2490-7 持ち込める資源ごみ 古紙、紙パック、空きかん、空きびん、プラスチック製容器包装、ペットボトル、古着類、小型家電、乾電池、充電式電池、白色トレイ・発泡スチロール、スプレー缶、カセットボンベ、食用油 リユース品の引取りと譲受け ベビーカー、チャイルドシート おもちゃ病院 年2回実施予定 成果指標Dは、リサイクルひろば移転に伴い、数値が取得できなくなったため令和2年度までとしています。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 開設日数	日	318	359	359	359
	B					
成果指標	C リサイクルひろばにおけるリサイクル・リユース件数	件	13,356	160	150	231
	D リサイクルひろばに持ち込まれた資源ごみ量(R02まで)	kg	339,940			
事業費 計			5,457	11,133	11,457	11,334
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	5,457	11,133	11,457

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 非常に順調 【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が中程度	(状況)リユース件数は44.4%増加した。 (理由)リユース事業が多くの市民に周知され、捨てずにリユースを活用する市民が増えたため。また、ベビーカーの抽選を廃止し、随時引き渡しができるように運用を変更したことも、大きな要因と考えられる。(ベビーカー引渡件数は、R2年度比で2倍)
--------	---	--

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

一般廃棄物処理基本計画推進事業

[1218]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	51-0903	実施計画
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	市民生活部 環境課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	一般廃棄物処理計画 廃棄物減量等推進審議会 循環型社会推進会議	計画の概要 ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条第1項の規定により、市町村は一般廃棄物処理計画(基本計画、実施計画)を定めることが義務付けられている。 ・基本計画では3つの基本方針、11の基本施策、44の具体的な取り組みを掲げており、それらに基づきごみの適正処理を進めている。 ・年度ごとに策定する実施計画では、年間ごみ排出量の見込みやごみ減量施策、ごみの収集・運搬・処理計画などについて公表している。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	計画の推進体制 市民や有識者等で構成される「廃棄物減量等推進審議会」と「循環型社会推進会議」との協働により、ごみの適正処理に向けた取り組みの推進及び計画の進行管理を行う。また、次期一般廃棄物処理基本計画の策定に向けて、事務を進める。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 市民への情報提供の回数	回	1	1	1	1
	B 廃棄物処理に対する取り組み項目数	個	44	44	44	44
成果指標	C 一般廃棄物処理基本計画目標達成率	%	0	0	0	0
	D					
事業費 計			90	20	3,256	3,096
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	90	20	3,256

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が大きい	(状況)変化なし。 (理由)令和元年度に基本計画中間見直し版を策定し、平成30年度の現状値を踏まえ、令和5年度の数値目標を再設定した。最終年次まで達成率は算出できないため0%となるが、目標達成に向けて各種取組を進める。
--------	---	--

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	次期計画策定に着手します。		
実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	次期計画策定に着手した。基本調査となる、燃えるごみ組成調査、市民意識調査、事業者ヒアリングを行った。		

クリーンシティ推進事業

[596]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	51-0904	実施計画	
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	市民生活部 環境課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民 市内小学校4年生	ポスター、標語等の募集 ごみの減量、リサイクル事業の啓発事業として、市内小学校4年生を対象にポスター、標語を募集する。 市長賞・市議会議員賞・市教育委員会教育長賞と入賞作品10点の計26点を選び、優秀作品を市役所ロビー等に展示し啓発する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<スケジュール> 6月 作品募集の通知(各小学校宛) 10月 作品の募集締め切り・審査 12月~1月 表彰、作品展示
	ごみの減量、リサイクル等について子どもたちの関心を高めるとともに、作品を展示することにより市民に啓発する。	親子リサイクル教室 夏休みの時期に、親子連れを対象とした料理教室、ごみリサイクル施設見学を実施する。(令和2年度は中止)

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A ポスター応募者数	人	382	375	750	374
	B 標語応募者数	人	558	342	750	230
成果指標	C ポスターを提出した割合	%	47.1	49.6	90	47.7
	D 標語を提出した割合	%	68.8	45.3	90	29.3
事業費 計			82	28	32	28
財源内訳		ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		82	28	32

R04年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 一部遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 低下</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>(状況) R3実績と比較すると、ポスター応募者は1.9ポイント低下し、標語応募者は16.0ポイント低下した。 (原因) 任意参加のため、学校側の対応が難しかったことが影響している。</p>
--------	--	---

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業 コード	99-0309	実施 計画	
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	評価対象外	総合 戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	市民生活部 環境事業センター		

事業の概要 (目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象 (誰、何に対して事業を行うのか)	手段 (事務事業の内容、やり方、手順)
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	平成21年度以降99-0404及び99-0405を合せて統合 <文書処理> 文書の收受 文書の発送 <職員管理> 会計年度任用職員の雇用・給与等管理・時間外勤務・報告 職員互助会事務 <事業計画・報告> 予算・決算 行政評価等 <その他の事務処理> 財務会計処理、印刷製本 (収集不可シール等) <物品管理> カラス除けネット、ごみ収集作業用物品、地域清掃用物品、不法投棄防止物品、リサイクル広場用物品等

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A						
	B						
	C						
	D						
成果指標	事業費 計			3,146	3,231	2,907	2,931
	財源内訳	ア 国	千円				
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般		3,146	3,231	2,907	2,931

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	
--------	---	--

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

ごみ減量庶務事務

[1166]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業 コード	99-0310	実施 計画	
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	評価対象外	総合 戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	市民生活部 環境課		

事業の概要 (目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象 (誰、何に対して事業を行うのか)	手段 (事務事業の内容、やり方、手順)
	ごみ減量係の庶務事業 課員	< 文書処理 > ...110時間 文書の收受 (60時間) 文書の発送 (20時間) 照会・依頼等の調査・報告 (30時間) < 事業計画・報告 > ...300時間 予算・決算 (100時間) 一般廃棄物処理事業調査 (200時間) < 財務会計処理 > ...100時間 < 印刷製本 > ...370時間 ごみ分別関係冊子作成 (210時間) ごみ分別チラシ作成 (20時間) 事業概要作成 (110時間) ホームページ作成 (30時間) < 物品管理 (啓発物品等) > ...20時間 < 各種会議等に関する庶務事業 > ...50時間 合計 940時間
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	
	ごみ減量係の庶務的な事務が正確かつ円滑に進んでいる。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A						
	B						
	C						
	D						
成果指標	事業費 計			3,469	2,436	2,030	1,561
	財源内訳	ア 国	千円				
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般		3,469	2,436	2,030	1,561

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】	
	未設定	
	【成果指標の状況】	
	未設定	
	【成果向上余地】	
	未設定	

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持	
	R04年度実施取組方針の実績評価		実施状況	-